

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
1	1	令和5年度に施設利用者向けアンケートを予定されているが、スポーツ実施率の向上のためには、施設を利用していない方を対象にした一般区民対象のアンケートも必要ではないか。	予算も含めアンケート設計について検討する。	令和5年4月に施設を利用していない方も含めた区民アンケートを実施した。 【第6章-3】
2	1	マインドスポーツ・eスポーツも含め、スポーツの捉え方・範囲によってスポーツ実施率は影響を受けるのではないか。	eスポーツも含めてスポーツの定義・範囲を検討する。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章-1-(2)】
3	1	スポーツ施設のバリアフリー化について、車いす競技者のスポーツ実施環境の調査・把握が必要でないか。	障害者のスポーツ実施環境について調査・把握を行う。	—
4	1	障害者に対するスポーツ振興施策が進んでおり、今後の展開が期待されるのではないか。	推進の要因を分析して施策に反映する。	ユニバーサルスポーツを推進する施策に取り組んでいく。 【第4章-基本目標2-(1)】
5	1	総合型地域スポーツ・文化クラブの会員数は横ばいであり、eスポーツなどの新たな活動内容も含め今後検討していく必要がある。	eスポーツへの関心も含めて調査・検討する。	区民アンケートにて、eスポーツの実施状況や活用方法に関する調査を実施した。 【第6章-3】
6	1	スポーツ実施率について、国・都の定義の違いの確認した上で水準を合わせる必要があるのではないか。また、「みる」「ささえる」に関連した目標値を設定できないか。	実施率の定義の確認を行う。また、成果指標の設定について、実施率以外にも検討する。	スポーツ実施率以外の成果指標も各基本目標ごとに設定する。 【第3章-4】
7	1	スポーツ観戦はQOLに貢献するものであり、大学・学校スポーツも含めて観戦機会の多様化を検討できないか。	スポーツ施設以外での観戦機会提供についても反映する。	—
8	1	プロチーム・選手の活躍も目立っており、観戦機会提供に寄与するのではないか。また、積極的な告知や支援などを検討してはどうか。	連携について検討していく。	施策として、試合招待イベントの開催など、観戦機会の拡充に取り組む。 【第4章-基本目標1-(1)】
9	1	パラスポーツは健常者も障害者も共に取り組めるユニバーサルスポーツであることを意識してはどうか。	健常者もともにできるスポーツとして発信・施策検討していく。	ユニバーサルスポーツを推進する施策に取り組んでいく。 【第4章-基本目標2-(1)】
10	1	家族でのスポーツ参加促進が、障害の有無を問わず、子どものスポーツ実施につながるのではないか。	家族・保護者をターゲットとした施策を検討する。	親子をターゲットとした施策を推進していく。 【第4章-基本目標1-(2)(3)】
11	1	キャンプや温浴などの民間リクリエーション施設の機能もスポーツ施設に取り込んではどうか。	スポーツ施設の多機能化について検討する。	—
12	1	スポーツ実施率の低い若年単身世帯を対象とした施策として、深夜利用可能な温浴・トレーニング施設を整備してはどうか。	スポーツ施設の多機能化について検討する。	スポーツ施設の機能充実に取り組んでいく。 【第4章-基本目標3-(1)など】
13	1	「多様な主体におけるスポーツの機会創出」は、特にDX・デジタル活用の視点で推進できるのではないか。それにより、スポーツに対する意欲はあるものの実施できていない層など、多様なニーズを受け止めていく必要があるのではないか。	DX・デジタル活用分野での施策・連携を検討する。	—
14	1	スポーツ実施には教育が重要である。子どもの頃から良い教育を受けていれば、自ずとスポーツを実施するようになるのではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	子どもがスポーツに親しめるきっかけを作れるような施策を進めていく。 【第4章-基本目標1-(2)など】
15	1	学校体育ではオリパラの影響もあり、ダンス、アーバンスポーツも含めて運動・スポーツに親しむ子どもが増えており、レガシー教育、ユニバーサルスポーツの観点も重要ではないか。また、ジェンダー平等など生涯スポーツの観点も重要ではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	幼稚園・小中学校へトップアスリートを派遣するなど、東京2020大会レガシーの取組みを継続するとともに、ユニバーサルスポーツを推進する施策にも取り組んでいく。 【第4章-基本目標2-(1)(4)など】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
16	1	eスポーツに相当する活動は多くの子どもに浸透している。どこからがスポーツなのかは難しいが、デジタル技術を活用した取組みは有効ではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	—
17	1	全国で活躍する部活動種目に加えて、「ゆる部活」「軽スポーツ部」も広まっている。障害のある子どもの参加も含めて施策に反映できるのではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	ユニバーサルスポーツを推進する施策に取り組んでいく。 【第4章—基本目標2—(1)】
18	1	女性、子育て世帯・勤労世帯などのターゲットを絞ったスポーツ実施率向上のため、特に情報提供に課題があるのではないか。	家族・保護者をターゲットとした施策を検討する。	親子をターゲットとした施策を推進するとともに、スポーツに関する情報提供・発信を充実させていく。 【第4章—基本目標1—(2)(3)、基本目標2—(2)】
19	1	昨年度の子どもの体力調査によると、パソコン・スマホ画面を一定時間見ている子どものほうが体力は高く、ライフスタイルは変化しているのではないか。	子どもたちのスポーツへのかかわりの多様化について施策への反映を検討する。	—
20	1	学校教育だけではなく、家庭・保護者世代にスポーツの価値を訴求することも効果的ではないか。	家族・保護者をターゲットとした施策を検討する。	親子をターゲットとした施策を推進するとともに、スポーツに関する情報提供・発信を充実させていく。 【第4章—基本目標1—(2)(3)、基本目標2—(2)】
21	2	現行計画におけるスポーツの定義には「健康の維持増進」という表現があるが、「心身の健康」等の表現により、心の健康にも言及してはどうか。	心身の健康への言及を検討する。	施策として心身の健康づくりの促進に取り組む。 【第4章—基本目標1—(4)】
22	2	スポーツの定義はシンプルなものとして、備考のような形でスポーツの捉え方を併記し、マインドスポーツやeスポーツなどにも言及しておいた方が良いのではないか。	スポーツの捉え方や、マインドスポーツ・eスポーツの記載方法を検討する。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章—1—(2)】
23	2	スポーツの定義について、心身の健康につなげるという観点から、「意識的に行う～」よりも「意図的に行う～」という表現の方が適切ではないか。	ご指摘を踏まえて表現方法を検討する。	「意図的に行う」の部分は削除すべき旨の意見に沿い、当該部分の削除を行った。 【第3章—1—(2)】
24	2	スポーツの捉え方として、「幼児の運動」という表現が出てくるが、「幼児の遊び・運動」という表現の方が適切ではないか。	ご指摘を踏まえて表現方法を検討する。	表現方法を見直し、反映を行った。 【第3章—1—(2)】
25	2	「する」「みる」「ささえる」は重なり合うものであり、分断して考えられると違和感がある。「色々な方法で関わる人を増やす」と考える必要があるのではないか。	「する」「みる」「ささえる」それぞれの要素同士の関わりを捉え、色々な形でスポーツに関わる人を増やせる施策を検討する。	「する」「みる」「ささえる」それぞれの要素同士の関わりを捉え、施策体系に反映を行った。
26	2	スポーツの捉え方として、「多様性に応じたスポーツ」や「ユニバーサルスポーツ」に言及した方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえて記載方法を検討する。	基本目標の説明文に反映を行った。 【第3章—3—基本目標2】
27	2	スポーツの捉え方として、「鬼ごっこなどの遊びを含む」などと付記しても良いのではないか。	スポーツの捉え方として「鬼ごっこなどの遊び」について付記を検討する。	スポーツの捉え方を見直し、反映を行った。 【第3章—1—(2)】
28	2	基本理念はありたい姿を示すもので最も重要である。区民向けワークショップを開催したり公募したりすることで、色々な方の意見を伺って作られるべきではないか。	区民ワークショップを開催し、意見を集約する。	令和5年5月に区民ワークショップを実施し、意見を集約した。 【第6章—2】
29	2	基本理念のいつでも・どこでも・だれでも・いつまでも（IDDI）は、基本理念を下支える普遍性の高い概念であり、変更する必要はないのではないか。	いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも（IDDI）の概念は今後も継続する方向で検討する。	いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも（IDDI）の概念は、基本理念を下支えるものとして継続する。 【第3章—2】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
30	2	「世田谷区はスポーツが盛んだと思う区民の割合」は評価が困難である。イベントや活動に自身がどれくらい参加したかという視点で指標を設定する必要があるのではないか。	アウトカム指標として適切な指標を検討する。	アウトカム指標として、「スポーツが地域の活性化に役立っていると思う区民の割合」を設定する。 【第3章-4-基本目標3】
31	2	基本目標に基づいて指標が設定されるべきであり、最終的にアウトカム指標で評価することは良いが、そこに至るまでのプロセスを把握するため、アウトプット指標も抑えなければならないのではないか。	取組み・事業についてはアウトプット指標等で進捗管理する。	—
32	2	基本目標は、健康寿命の延伸、医療費の削減などにも踏み込むことができるのではないか。スポーツは、区民の健康、人とのつながり、まちの活性化に貢献する手段であると区民に呼び掛けられると良いのではないか。	目標とする場合には成果指標と紐づけて進捗管理する必要があるため、測定の観点からも検討する。また、区民へ呼びかけられるような内容を検討する。	スポーツを通じ、区民の健康、人とのつながり、まちの活性化に貢献できるものとして、基本目標を設定する。 【第3章-4】
33	2	基本理念は、IDDIの前に、「豊かな心身を育む」等を入れた方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	「豊かな心身を育む」想いも込めて、「スポーツで元気あふれる世田谷」として基本理念を設定する。 【第3章-2】
34	2	基本目標の「共生社会の実現」においては、世代の違いや人種の違いも含めて記載いただいた方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	基本目標を見直し、反映を行った。 【第3章-3-基本目標2】
35	2	スポーツ施設の整備において、スポーツをする人を増やすという点では、多目的で使える場所を増やすことが重要ではないか。	スポーツ施設の整備のあり方について検討する。	多目的に利用可能な誰もが使いやすいスポーツ施設の整備を進める。 【第4章-基本目標3-(1)など】
36	2	スポーツ施設の整備においては、DXの推進やPFIの活用に関する言及すべきではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	—
37	2	スポーツ施設の整備について、何を目的として行うかにより施策が違うので、目的を明確にすべきではないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	スポーツ施設の体系図を示すとともに、整備の考え方や役割と機能を整理した。 【第3章-スポーツ環境の整備の考え方-1-(1)】
38	2	スポーツ施設の整備においては、まちづくりや、地域活性化のためのイベント企画などといった観点の施設の利用にも言及できないか。	ご指摘を踏まえて検討する。	—
39	3	スポーツは競うものであるとは限らないため、本計画におけるスポーツの範囲における「マインドスポーツやeスポーツにも、互いに競い高めあうスポーツの要素が含まれ、」という表現は、「競い」という表現を削除すべきではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	表現方法を見直し、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
40	3	本計画におけるスポーツの範囲における「スポーツの多様性」という表現は、「多様なスポーツ・運動」等の表現の方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	表現方法を見直し、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
41	3	eスポーツはスポーツゲームに過ぎないとの見方もある。ネガティブな側面も多く見てきており、スポーツとして定義するのは時期尚早ではないか。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。	eスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章-1-(2)】
42	3	マインドスポーツは古くからIOCの認定を受けており、世界標準からしても、これらをスポーツから除外すべきではないのではないか。世田谷区として、心身の健康を目指すところに重点を置いた方が良いのではないか。	マインドスポーツについては、国や都の動向を注視していく。	マインドスポーツについては、国や都の動向を注視していく。 【第3章-1-(2)】
43	3	多様なスポーツの在り方は認める必要があるが、世田谷区が考える運動やスポーツは、身体活動を伴うものと理解した方が良いのではないか。	運動やスポーツは身体活動を伴うものを基本としつつ、多様なスポーツの形態を考慮し、範囲やあり方を検討していく。	運動やスポーツは身体活動を伴うものを基本とする。 【第3章-1-(1)】
44	3	eスポーツをスポーツと捉えることで、資金調達につなげられる可能性がある。一方、現行のアンケート調査においてはeスポーツをスポーツに含めていないため、整合性が取れなくなる懸念がある。注視していくという表現に留めることではどうか。	ご指摘を踏まえ、表現を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
45	3	「多様なスポーツ・運動」等の表現を用い、マインドスポーツやeスポーツに係る文言は広く残し、国や都の動向を注視していくこととしてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
46	3	「自転車利用をスポーツに位置付けます」は「自転車利用もスポーツに位置付けます」、「ペットの散歩などを位置付けます」は「ペットの散歩などもスポーツに位置付けます」ではないか。	ご指摘を踏まえて、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章-1-(2)】
47	3	区として、高齢化対策や医療費削減のためにも身体を動かすことを推奨するようなメッセージを入れることもできるのではないかと。自分の健康は自分で守るということを打ち出しても良いのではないかと。	ご指摘を踏まえて、表現方法を検討する。	基本目標1で生きがいや健康づくりに言及しており、そこに包含したものとして考えていく。 【第3章-3-基本目標1】
48	3	「健康づくりや生きがいを創出する」というところから自らの健康増進には触れているため、医療費削減等と敢えて打ち出す必要はないのではないかと。	ご指摘を踏まえて、表現方法を検討する。	基本目標1で生きがいや健康づくりに言及しており、そこに包含したものとして考えていく。 【第3章-3-基本目標1】
49	3	基本目標1の成果指標には「週3回以上スポーツする区民の割合」も入れてはどうか。	区民意識調査の際は、週3回以上のスポーツ実施率の設問も継続し、推移を把握していく。基本目標の成果指標としては、週1回以上のスポーツ実施率として設定する。	成果指標は週1回以上のスポーツ実施率を設定する。 【第3章-4-基本目標1】
50	3	「スポーツを大切に感じる区民の割合」ではなく、直接的に「スポーツが生活の質を向上につながっていると感じる区民の割合」とすればよいのではないかと。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	成果指標として反映を行った。 【第3章-4-基本目標1】
51	3	スポーツ観戦率は、現地でもそうでなくても、スポーツに関心を持って観る人の割合を取る必要があるだろう。頻度としては月に1回以上などとして調査してはどうか。	調査項目及び成果指標として検討する。	—
52	3	基本目標1の成果指標に医療費の削減や健康寿命の延伸を位置づけられないかと。	医学的な領域など、様々な要素が含まれることから、成果指標としてとして定めるのは困難であると考えている。	—
53	3	基本目標3の成果指標となっている「1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合」は基本目標1に入るのではないかと。	スポーツを支える活動については、部活動の地域移行や地域の活性化の要素としても考えられることから、基本目標の3番に含める方向で検討する。	「1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合」は基本目標3に分類を行う。 【第3章-4-基本目標3】
54	3	基本目標3の柱にはスポーツによる経済効果やボランティア、専門家育成などに係る成果指標が位置づけられるのではないかと。	ボランティアなど、1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合を設定する方向で検討する。	ボランティアなど、1年間にスポーツを支える活動を行った区民の割合を設定する。 【第3章-4-基本目標3】
55	3	「地域のつながりにスポーツが役立っていると思う区民の割合」は、「スポーツを通じて新しい人間関係が形成された区民の割合」等としてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	成果指標を見直し、「スポーツを通じて新たな交流が生まれていると感じる区民の割合」として設定する。 【第3章-4-基本目標2】
56	3	部活動の地域移行は今後さらなる検討が必要である。施策体系の中でも位置づけるべきではないかと。体育系の大学との連携なども推進できるのではないかと。	課題または施策等の内容に反映する。	施策体系において、地域スポーツ団体との連携を位置づけていく。 【第4章-基本目標3-2】

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
57	3	スポーツツーリズムによる地域産業の振興を位置づけるべきではないか。ターゲットを絞った収益性のあるサービス展開等もできるのではないか。	ご指摘を踏まえ、施策展開を検討する。	スポーツの大会・イベントを通じた地域振興として、来訪者もターゲットにした施策を位置づけていく。 【第4章－基本目標3－(4)】
58	3	スポーツは無償ではなく対価を支払うという文化も必要であり、財源を捻出するという観点での施策が必要ではないか。資金、施設、人材を確保するため、企業との連携等も考えられる。	ご指摘を踏まえ、施策展開を検討する。	－
59	3	学校開放のハードルが高いが、もっと開かれた形をとった方が良いのではないか。	担当所管と連携していく。	－
60	4	17頁の「介護予防のためのトレーニング」は、「体力向上や介護予防などのためのトレーニング」と表現を変えてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「健康維持や介護予防等のための運動」へ修正した。 【第3章－1－(1)】
61	4	17頁の「意図的に行う散歩・散策」は、スポーツ庁の定義でも何気ない散歩をスポーツに含めているので、単に「散歩・散策」で良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章－1－(2)】
62	4	17頁の「近年高まりがみられるeスポーツにおけるスポーツの要素について」の後に「高齢者の認知症予防、若年層の教育機会提供など」と続くが、活用範囲を狭めなくて良いと考えるため、削除してはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章－1－(2)】
63	4	17頁のマインドスポーツもスポーツとしての認識を得ているので、「eスポーツ」ではなく「eスポーツやマインドスポーツなど」としてはどうか。「など」の中にはアーバンスポーツ等を広く含められるだろう。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章－1－(2)】
64	4	17頁の「身体活動」は、「心身のためになる身体活動」としてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「心と身体の健康のための身体活動」として、反映した。 【第3章－1－(1)】
65	4	17頁（2）の「新たな形態について、」という表現は入れなくても良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、反映を行った。 【第3章－1－(2)】
66	4	15頁（3）の「スポーツボランティアへの参加を促進するとともに、」という表現について、スポーツの名の下に無償のボランティアを強いてきた中で、現在様々な箇所ですみが出てきており、無償ボランティアを想起させる表現は避けた方が良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ご指摘を踏まえ、「スポーツボランティア」を直接的に言及するのではなく、「スポーツを支える活動」を促進する旨の表現に修正した。 【第2章－5－(3)】
67	4	アンケートでは「スポーツ」よりも「運動やスポーツ」と表現すると実施率が上がるだろう。	スポーツ実施率の調査を行う際には、「運動やスポーツ」の表現を用いる。	－
68	4	スポーツ施設について、（3）身近なスポーツの場について、具体的な場所や写真の掲載はないのだろうか。	具体的な場所や写真の掲載を含め、記載方法を検討する。	具体的な施設の写真を掲載するなど、修正を行った。 【第3章－スポーツ環境の整備の考え方－1－（2）】
69	4	29頁の「スポーツに触れる場や機会の提供」は、空きスペースを活用したイベントの実施のみとなっている。また、「場所」の他に、早朝や夜間に施設を使える工夫など「時間」の問題に触れる必要がある。「いつでも」という表現を加えてはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	空きスペースに留まらず、まちなかで気軽に参加できるスポーツイベントを実施する。また、施策の方向性①を、「いつでも・どこでも気軽にできるスポーツの普及」に修正した。 【第4章－基本目標1－(1)】
70	4	計画の議論とは異なるかもしれないが、32頁の「区民体育大会」は「区民スポーツ大会」と名称を変えた方が親しみやすいのではないか。	区民体育大会の名称については、国や都の動向を踏まえて検討していく。	－

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
71	4	48頁のスポーツツーリズムとしては世田谷246ハーフマラソンにだけ触れているが、ツーリズムと言えるほどのものだろうか。「など」を付けてはどうか。イベントは食や音楽の要素を付加して総合型イベントとした方が集客できる。	スポーツツーリズムに関して、世田谷246ハーフマラソン以外にも言及するよう記載方法を検討する。	世田谷246ハーフマラソンのほか、スポーツチームの試合会場での賑わいの創出やまち歩きなどの連動を追記した。 【第4章－基本目標3－(4)】
72	4	「新しい交流が生まれた区民の割合」という目標が立てられているが、1%上げるには5,000人以上の区民の意見を変える必要があるだろう。どの施策が有効だったか検証するためにも、できるだけ各施策に紐づけて具体的な数値目標を立てておいた方が良いのではないかと。	計画の中では取組みの方向性を示し、具体的な数値までは記載を行わないこととする。評価については、事業ごとに目標値を定めていく。	—
73	4	25頁の「ユニバーサルデザインや多様性に配慮した」というところには、情報のアクセシビリティなども入るだろう。視覚、聴覚障害や多言語対応も含んだ表現とした方が良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	情報のアクセシビリティに関連するものとして、サイン表示に関する内容を追記した。 【第3章－スポーツ環境の整備の考え方－2－(1)】
74	4	スポーツツーリズムにおいては、必ずしもスポーツがメインではないのではないかと。スポーツしていない人を取り込むのなら、むしろ音楽や食を中心としたイベントにスポーツの要素を取り入れてもらう方が良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、施策展開を検討する。	—
75	4	26頁の合理的で質の高い管理運営に関しては、定期的な競争入札と適正な評価手法を用いることに触れても良いのではないかと。既に仕組化されて当然のことと認識されている場合は不要である。	区では「指定管理者制度」を導入しており、専門的なノウハウを持った民間事業者等にスポーツ施設の施設管理及び運営を委託している。また、業者選定の際には、プロポーザルを実施し、審査員の評価を経たうえで決定するなど、適正な手法を用いて実施している。指定管理者制度はホームページ等でも周知しており、区民から認知も一定程度あるものとする。	—
76	4	29頁のスポーツに親しむきっかけづくりにおいては、民間資金を引き出し、ノウハウ等を提供してもらう代わりに広告宣伝や販売促進をさせてあげる必要があるだろう。条例を弾力的に運用し官民連携を推進することについて触れても良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ、今後の課題として検討する。	—
77	4	1頁にデフリンピックに触れているものの、関連する施策が何もない。聴覚障害特別支援学校なども立地しているはずで、学校教育に取り入れられたりすることができないのだろうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	施策の方向性に「アメリカをはじめとした海外選手との交流による共生社会推進の取組み」をあげており、そこに包含したものとする。 【第4章－基本目標2－(4)】
78	4	46頁の「スポ・レクネットを活用した」という表現がみられるが、部活動の地域移行と絡めた記述ができないのだろうか。「連携の模索」等と表現すると良いかもしれない。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	施策の方向性の部分で「中学校部活動が地域への移行を検討されるなど…」の文言を追加し、部活動の地域移行と絡めた表現に修正した。 【第4章－基本目標3－(2)】
79	4	46頁のスポ・レクネットの指導者への研修の中には、ユニバーサルスポーツやパラスポーツの理解向上などは実施されているか。スポーツ推進委員を対象とした同内容の研修は各地域で実施されているので、未実施の場合は検討していただきたい。	現状、スポ・レクネットの研修ではユニバーサルスポーツやパラスポーツの理解向上までは実施されていない。事業実施主体である公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と協議しつつ検討していく。	—
80	5	アンケート結果から、手軽に参加できるイベントが少なく、また区民が実施しているスポーツは個人型であると思われる。チームで行うスポーツに手軽に参加できるイベントの必要性に言及し、67頁の推進体制に一般市民を含めてはどうか。	スポーツに親しむきっかけづくりとして、気軽に参加できるイベントを推進する。 区民は主体的にスポーツを「する」・「みる」・「ささえる」ことを日常的に楽しみ、スポーツを通じて人や地域とつながることにより、心身が健康になることが期待されるが、計画・事業の推進体制としては含めない。	—

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
81	5	計画開始年度である令和6年度には、令和7年度に開催されるデフリンピックに関連した事業が具体化されている必要があるため、計画内にも講習会やデフリンピックの運営方法で種目の体験といった具体事業案を記載してはどうか。	競技会場は公表されたが、現時点でその他の具体的な内容は示されていないため、事業案の記載は難しい。目標として「共生社会の実現を目指す」としており、デフリンピックを契機とした交流事業等も今後検討していく。	—
82	5	部活動の地域移行についてはさらなる議論が必要な段階かつ早急に対応を進めていく必要がある段階であるため、もう少し具体案を記載してはどうか。	部活動の地域移行については、地域移行のあり方を検討している最中であり、現時点では具体案の記載は難しい。	—
83	5	ワークショップでは、人材や組織の育成、活用が不十分という指摘があるので、対応策を記載する必要があるのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	施策の方向性として「地域スポーツを支える人材の育成・活用」および「地域スポーツ団体・民間団体当との連携強化・コーディネート」を記載しており、人材や組織の育成・活用に言及している。 【第4章—基本目標3—（2）、（3）】
84	5	アンケート結果は価値があり、結果がどのように施策に反映されているのかを見せる必要があるのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	計画を推進する全体像において、アンケート結果等から見えた現状・課題と、施策との対応関係がわかるようにする。【第3章—5】
85	5	モニターアンケート結果の読み取りとして、例えば「9)この1年間にスポーツ・運動を行わなかった理由」では、多忙、体力に自信がない、機会がない、好きでないといった回答の割合が高いため、このあたりを解消するための施策が必要ではないか。	アンケート結果を踏まえ、いつでも・どこでも気軽に取り組めるスポーツの推進に取り組む。	施策の方向性に「スポーツをしていない人、関心が低い層へのアプローチ」を掲載しており、具体的な事業の一つとして「まちなかで気軽に」参加できる取組みを挙げている。 【第4章—基本目標1—（1）】
86	5	子どもや若い世代にあまり焦点が当たっていないように感じられるので、若い世代に向けた施策があっても良いのではないか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「ライフスタイルに応じてスポーツを楽しめる環境づくり」の中で、子どもから高齢者まで、ライフスタイルに応じたスポーツの推進に取組みに言及するとともに、子どもの運動・スポーツに関する写真を追加した。 【第4章—基本目標1—（2）】
87	5	59頁および60頁について、「スポーツボランティア制度」の推進という文言は掲載すべきではないのではないか。スポーツボランティア自体を否定するものではないが、区として推進することは適切ではないのではないか。	国が策定した「スポーツ基本計画」において、「各団体同士の連携促進を図り、専門スタッフ、スポーツボランティア等の活躍の場を拡充する」旨を施策に掲げ、具体的に「各団体と連携し、スポーツに関わる多様な人材の拡充を支援する」としている。 区としても有償・無償を問わずスポーツボランティアは、スポーツを支える担い手として重要であると考えており、制度を推進すべきものとする。	【第4章—基本目標3—（2）】
88	5	スポーツに限って、指導や運営といった活動が対価の発生しないボランティアによって支えられていることが当たり前となっている。少額であっても、サービスに対する対価を発生させるエコシステムの創出を推進することの方が重要ではないのか。	有償・無償を問わずスポーツボランティアは、スポーツを支える担い手として重要であると考えており、区としては、制度を推進すべきものとする。 ボランティアとして活動いただく際には、活動に対する対価として図書カードをお渡しする取組みを一部行っているが、引き続きボランティアのあり方を検討していく。	—
89	5	スポーツボランティアに関わりたいという方々もおり、「する」「みる」「ささえる」の観点からも、スポーツボランティア制度に関する文言を完全に消去するのではなく、「スポーツボランティアを育てる環境を整える」等に表現を調整することで対応してはどうか。	有償・無償を問わずスポーツボランティアは、スポーツを支える担い手として重要であると考えており、区としては制度を推進すべきものとする。	—
90	5	計画本編の内容が単調であることから、区民に十分に読んでもらえない可能性がある。計画内に強弱をつけたり、世田谷区の取組みとしてアピール可能な内容を掲載したりするなど、表現を工夫してはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	ラグビーワールドカップ2023パブリックビューイング事業など、区の取組みについて写真を掲載して紹介する。 【第4章—基本目標1—（1）】など

No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
91	5	10頁及び11頁に年齢別・性別のアンケート結果が掲載されている。スポーツ実施率の全体的な底上げを見据えるうえでは、具体的にどのようなターゲット層にアプローチが不足しているのかがわかるような分析結果を掲載してはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	「ライフスタイルに応じてスポーツを楽しめる環境づくり」を推進しており、アンケート分析に基づいて親子等で楽しめる部門やプログラムのほか、子どもから、高齢者まで」として各種事業を展開している。 【第4章－基本目標1－（2）】
92	5	近年ではポッチャの依頼が非常に増えており、本計画においてもポッチャのコート常設について言及がある。早期の実施を期待したい。また、障害者のスポーツ・運動の指導の現場では、ヘルパー等の介護人材や福祉タクシー等の福祉部門の政策の充実があると、より障害者が参加機会を持てると感じており、他部署との連携が進められたい。	ご指摘を踏まえ、今後、施策展開を検討する。	－
93	5	36頁以降について、各施策の方向性については網羅されているが、「事業名」「事業概要」の表現の解像度が低い印象のため、具体的な事業としてブレイクダウンし、実現が想起できる表現に調整してはどうか。	ご指摘を踏まえ、表現方法を検討する。	具体的なキーワードを入れる等、施策内容等が想起しやすくなるよう表現方法を見直しを行うとともに、適宜写真やイラストの追加を行った。 【第4章－基本目標1－（1）など】
94	5	計画期間は8年だが、8年後も同じ施策・事業を実施していることは想像しづらい。多くのことが非常に速いスピードで変化する世の中に対して対応できるよう、途中で修正するなど、ブラッシュアップを掛けていく必要があるのではないかと。中間見直しまで4年という期間設定も長いのではないかと。	年度予算計画・行政評価に基づくPDCAサイクルを全庁として実施している。実態の定期的なモニタリングや、個別施策での意見聴取は随時行っていく。	－
95	5	定期的な検証が必要であることから、推進計画の施策の一部にアンケート調査を実施する旨を記載してはどうか。	次のアンケート調査実施時期等が未定であり計画の中での具体的な明記は難しいが、成果指標の検証等のため、適宜アンケート調査は実施する予定である。	－
96	5	スポーツをささえる担い手という観点から、総合型地域スポーツ・文化クラブの一覧を掲載してはどうか。	ご指摘を踏まえ、一覧表の掲載を検討する。	参考資料として、総合型地域スポーツ・文化クラブの一覧表を掲載する。 【第6章－5】
97	5	障害者スポーツのボランティアに所属学生が参加することがあるが、学生にとっても新たな発見となり、そのノウハウが就職活動やキャリアに活かされていることもある。人材育成の観点からスポーツボランティアの活動を捉えてはどうか。	幅広い人材育成の観点で、スポーツボランティア等の担い手の育成を図っていく。	スポーツボランティアに関する内容について、人材育成の観点も絡めた記載を行う。 【第4章－基本目標3－（2）】
98	5	40頁について、「各団体等と協力し、スポーツを観戦する機会」とあるが、より人気のあるパブリックビューイングや体験コーナーを実施し、スポーツを介した交流や・競技を体験する機会を作るような取組みを進めてはどうか。	機会を捉えてパブリックビューイングや体験会を開催しており、引き続きスポーツを通じた交流や体験の機会創出も検討していく。	－
99	5	40頁について、「スポーツに触れる場や機会」とあるが、例えば、スポーツには関心がないが、お祭りやイベント等に関心のある若年層からアイデアを引き出し、実行委員会を組成していくなど、事業の実施主体に一般区民を巻き込める取組みの工夫を検討してはどうか。	ご指摘を踏まえ、今後の課題として検討する。	－
100	5	レクリエーションスポーツは既存のルール・道具・場所を工夫すれば、障害の有無にかかわらず楽しむことができる。子どもが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、スポーツに関わりながら楽しさを提供できる機会を拡大していく必要があるのではないかと。	障害の有無等に関わらず誰もが楽しめるユニバーサルスポーツを推進していく。また、子どもが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、きっかけづくりやスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいく。	【第4章－基本目標2－（1）】、 【第4章－基本目標1－（1）、（2）】



No.	実施回	意見内容	対応の考え方	計画への反映の考え方
101	5	予約が必要な公共スポーツ施設よりも公園や河川敷、芝生広場といったオープンスペースのほうが気軽にスポーツ・運動しやすいことから、運動・スポーツにおけるオープンスペースの活用や、そうした場を増やすことを取組みの一つとして検討してはどうか。	ご指摘を踏まえ、検討する。	身近なスポーツ活動・運動の場の整備（地区スポーツ施設）の中で、公園や緑道等のオープンスペースも区民が身近な場所でいつでも気軽にスポーツ・運動ができる環境として捉えており、運動スペースの確保や健康器具の設置等、身近な場所でのスポーツ活動・運動の場の環境整備を図っていく。 【第3章—スポーツ環境の整備の考え方—1—（2）】
102	5	24頁について、「ダンス」を例示として示してはどうか。	ご指摘を踏まえ、例示について検討する。	ダンスはスポーツ・運動にも位置付けられているものと考えられるが、イメージ喚起のため、「本計画におけるスポーツ」のページにダンスの写真を掲載する。 【第3章—1—（1）】